第 124 回　フランス第二帝政と第三共和政

1　ナポレオン再び

・（　　）により、ルイ=ナポレオンは独裁者となった。
　→1852 年、さらに国民投票によって皇帝となった。

ナポレオン3世

☆（　　）（1852～1871 年）

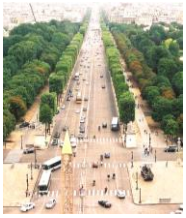
◆（　　）（在位 1852～1871 年）

・ナポレオン３世は、叔父の名声を利用して、ブルジョワジー・労働者・農民の利害を巧妙に調整し、独裁的な権力をにぎった（ボナパルティズム）。
・1860 年、英仏通商条約を結び、自由貿易による産業育成をはかった。
・セーヌ県知事オスマンに命じて全面的な（　　）を行った。
　→現在のパリの原型を造り、1852 年にはデパートも作られた。
・1855 年と 1867 年には、パリで（　　）を開催した。

フランス政体の変遷の風刺画
右の七月王政から、左の第二帝政に至る、権力者の移り変わりを表している。
全員わかるかな？

オスマン知事（右端）
パリがあるセーヌ県の知事として、都市の整備を行った。左端はナポレオン3世。

パリの凱旋門


シャンゼリゼ通り

このようなまっすぐな道がひかれたのは、ナポレオン3世の時代である。彼は「馬上のサン=シモン」と呼ばれ、多くの社会政策を実施したため、近年評価が高まってきている。

2　ナポレオン３世の対外政策

・ナポレオン３世は、国民からの人気を維持するため、積極的な海外進出を進めた。
　→各地で行われる様々な戦争に、干渉していった。

・1853 年に始まる（　　）へ介入してロシアに勝利した。
　→1856 年、パリ条約をまとめあげた。
・1856 年、イギリスとともに（　　）を戦い、清に勝利した。
・1858 年、スペインとともに（　　）を行った。
　→1862 年、サイゴン条約でコーチシナ東部を獲得した。

・1859 年、（　　）に介入した。
　→（　　）と（　　）を獲得した。
・エジプトでは、1859 年に着工したスエズ運河が 1869 年に完成した。

ロシア皇帝ニコライ1世

ロシアはクリミア戦争の敗戦で、伝統の南下政策が大きな打撃を受けた。思い悩んだニコライ1世はうつ病になり、戦争中に急死。国際関係が複雑なので、第 128 回で詳しくやります。

破壊された円明園

アロー戦争により、乾隆帝がカスティリオーネに建てさせた円明園は、完全に破壊された。現在も廃墟の状態で一般公開されている。第 76 回、146 回を勉強しよう。

サルデーニャ王国宰相カヴール

イタリア統一戦争では、ナポレオン３世とプロンビエール密約を結んでいた。第 125 回でその背景を勉強します。

3　第二帝政の終焉

・数々の海外進出の成功により、ナポレオン３世の人気は非常に高まった。
　→しかし海外進出が失敗すると、政権は大きく揺らいでいった。

・1861 年、イギリス・スペインとともに（　　）を行った。
　→オーストリア皇帝の弟マクシミリアンをお飾りのメキシコ皇帝とした。
　→メキシコ人の抵抗やアメリカの抗議によって失敗に終わり、国民の人気を失った。

・1870 年、プロイセンの宰相ビスマルクの挑発にのり（　　）を始めたが、敗れて（　　）で捕虜となった。
　→1870 年 9 月、第二帝政は崩壊し、臨時国防政府が成立した。
　→パリに進軍したプロイセンは、1871 年 1 月、ヴェルサイユ宮殿でドイツ帝国の成立を宣言した。

マネ作「マクシミリアンの処刑」

フランスに見捨てられたマクシミリアンは、メキシコ兵に捕えられて、処刑された。
印象派の画家マネは、絵画の一部をわざと事実と異なるように描き、ナポレオン3世を非難した。

ナポレオン3世とビスマルク

普仏戦争に関しては、第126 回でプロイセン側の視点でも勉強しておこう。
スダンで捕虜となったナポレオン3世が、プロイセンの宰相ビスマルクと話をしている。この後ナポレオン3世は退位して亡命した。

4　パリ=コミューンと第三共和政

・1871 年 1 月、フランスはドイツに降伏し、普仏戦争は敗北に終わった。
　→臨時政府は、屈辱的な講和条約により、（　　）と（　　）を統一したばかりのドイツに奪われてしまった。

・1871 年 3 月、屈辱的な内容に反発するパリ市民は、（　　）という自治体を組織して、臨時政府に抵抗した。
　※これは史上初の労働者による政府である。
　→（　　）を中心とする臨時政府はドイツの支援を得ると、「血の週間」という戦闘を経て徹底的にパリ=コミューンを鎮圧した。
　→1871 年 8 月、ティエールは初代大統領となった。
　※この政治体制を（　　）という。

＜第三共和政の特徴＞
・1875 年、（　　）が制定された（大統領の権限は弱い）。
・ナショナリズムが高まり、政教分離やフランス語の強制が行われた。

ティエール

ボルドーに国民議会を招集し、臨時政府を成立させた。激動の 19 世紀フランスを生き抜いた政治家である。

バリケードを作るパリ市民

実現はしなかったが、史上初の女性参政権を規定するなどした。激しい弾圧で、パリ=コミューンは3万人の死者を出して崩壊した。

ジャンヌ=ダルク像

名もないひとりの少女が、突如フランスの英雄とされたのは、実はこの時代である。各地に像が建てられ、現在でも英雄とされている。